

ロシア語語彙データベースの制作¹

尾子 洋一郎

キーワード：コーパス，ロシア語教育，データベース

0. はじめに

『ロシア語学と言語教育 III』（以下第三号）にて論じた，Filemaker Pro（以下ファイルメーカー）を使用した「単語ブラウザ」，iTunes のカバーフロー（アルバムのジャケット写真表示機能）を用いた視覚的に単語を習得するシステムの実演をシンポジウムにおいて行った。

第三号にてデータベースの概要には触れたが，それはまだ未完成であったので，シンポジウムをデータベースが具体的に動作している所を披露する機会ととらえ，理論的なものを具現化したものとして報告を行った。従って，本稿は第三号の拙稿と重複する部分が非常に多い事をあらかじめお断りしておく。

1. 語彙データベースの現在

データベースの元となる語彙は基本語彙として，堤正典教授（神奈川大学），小林潔特任准教授（神奈川大学（当時））の両氏が選定した約 2500 語である。神奈川大学で 2011 年度に採用しているロシア語教科書の語彙をほぼ網羅したものとなっている。また，神奈川大学にて録音した音声ファイルとひも付けしてあるために，語句の音声再生ができる（音声ファイルそのものはデータベースに埋め込まれておらず，ファイルの path を記述してある）。

データベースソフトウェアであるファイルメーカーと表計算ソフトウェアの Microsoft Office Excel（以下エクセル）とを連関させ，ファイルメーカーで選んだ語彙をエクセルのファイルとして書き出すこと可能なように設計した。例えば教科書の第 10 課に出てくる語彙を選ぶと（ファイルメーカーの検索窓に 10 と入力すれば可能），当該語彙が抽出されたエクセルのファイルが完成する。しかし，現時点では，教科書を網羅する形でデータベースを設計してしまったため，関係のない教科書までエクセルファイルに出力されてしまう現象にみまわれている。この現象はファイルメーカー側の問題点ととらえることができ，本ソフトウェアのバージョンアップで解決される見通しである。また，教科書の語彙

¹ 本論は 2012 年 3 月 24 日に神奈川大学横浜キャンパス（17 号館 215 会議室）で開催された 2011 年神奈川大学国際交流事業「シンポジウム・ユーラシアを研究する『日露の交流と言語教育～ロシア語の新たな国際性』」において，同題目で口頭発表をしたものを修正・加筆したものである。

をエクセルのシートに分割（それぞれの教科書に対して、それぞれシートを割りふる）することによって回避も可能である。

2. データベースの現状での問題点

先に述べたように、教科書をまとめてエクセルの一枚のシートにしたために、不要な語彙まで出力されてしまう点である。

次に重要な点は、ユーザインターフェースである。教場での教材提示としてスタンドアローンで動作するようにコンパイルしたファイルメーカーの「見栄え」が悪いことである。すなわちユーザインターフェースを柔軟に変更できない点である。これは、教員が自分自身向けに見た目を変更するのが容易ではないということである。

本シンポジウム開催時には、ファイルメーカーの使用バージョンは 10 であったが、本稿執筆現在（2013 年 12 月）では、同ソフトウェアのバージョンがあがり、13 となりユーザインターフェースのカスタマイズができ、データベース本体に、第三号で述べた MP3 の音声ファイルを埋め込むことが可能になったので最新バージョンでの検証を行うことも残された課題である。

次いで、データベースのファイルそのものは、Unicode のテキストファイルなので、運用するソフトウェアを別種のものにするべきかどうか、課題である。

3. 本データベースが裨益すること

データベース制作時においての、対象となる教科書の語彙（本データベースの場合は神奈川大学の教科書）を収録しているため、通時的に作成してゆけば、すなわち、5 年単位、10 年単位でデータを蓄積してゆけば日本におけるロシア語教材の語彙の変遷・推移を調べることが可能である。日本におけるロシア語教育史を研究する場合に限らず、筆者は恒常的なデータベースの語彙の追加／更新をしてゆくことで、ロシア語教育に携わる者に貢献し、益するところ大であると考えられる。

4. 終わりに データベースの今後

先に問題点と課題をあげたように、本データベースには改善の必要が大いにあるといわざるを得ない。

- 1) 教材提示装置としての「単語ブラウザ」のブラッシュアップ
- 2) iTunes との連携（注：シンポジウム後、アップル社の iTunes はユーザインターフェースを大幅に刷新し、カバーフローが無くなってしまった。それに対応する必要がある）
- 3) ファイルメーカー自体がエクセルのファイル形式での書き出しに対応しているため、エクセル側でデータベースの運用が出来ないかどうかの模索

挙げていけば上記以外にもたくさんの改善点がある。

また、学習者にとっても使用しやすいよう、昨今急速に普及し始めたタブレット型 PC にも対応させる必要があるだろう。iOS 用にファイルメーカー社が **Bento** というアプリを無償提供しているので、対応機器を所有している学習者であれば自主的学習が可能である。

補 遺

教科書出現順に、データベースの単語をソートする方法として、単語に対して、番号を振り、その番号でソートする方法がある。具体的に言えば、a, b, c, d, e とソートしたい場合には、それぞれに、対応する教科書のレッスン番号を 1 の位に、そして、出現順は小数点で表現すればソートできることが分かった。つまり、a という語がレッスン 4 の 5 番目に出現するのであれば、この語の固有番号は 4.005 となる。固有番号を付けるには、表計算ソフトを用いれば容易である。以下に Excel での表をあげるが、教科書での登場順 = 固有番号、単語データベースでの全語彙に割り振られた番号を識別番号とする。この図で分かるように、固有番号でソートすると、識別番号が順番通りではないという事がわかる。なお、識別番号とは、ロシア人協力者に音読してもらった語彙の順番である (A 列がそれに該当する。D 列が固有番号)。

	A	B	C	D	E
1	1	見出し語	МОЗАИКА	21c	話
23	829	кто		1	1.001
24	2043	это		1	1.002
25	1746	студентка		1	1.003
26	1747	стул			1.004
27	1528	родители		7	1.005
28	902	мальчик		9	1.006
29	467	девочка			1.007
30	809	кот			1.008
31	1663	собака		9	1.009
32	2000	что		1	1.01
33	1733	стол		2	1.011
34	1752	сумка			1.012
35	1236	письмо		2	1.013
36	1182	очки			1.014
37	385	газета			1.015
38	1120	окно		2	1.016
39	1978	часы		10	1.017
40	589	журнал		7	1.018
41	670	Иван		3	1.018
42	1546	ручка		8	1.019
43	964	море		3	1.02
44	214	брюки			1.021
45	744	карандаш		3	1.022

ロシア語語彙データベースの制作

尾子 洋一郎

『ロシア語学と言語教育 III』所収の拙稿において、ロシア語語彙データベースについて言及した。本稿はシンポジウムの場合において実際にデータベースを運用し、その時においてあげられる問題点ならびに今後の課題について報告したものをまとめたものであると同時に、データベースを通事的に拡充する事によって得られる利点についても言及したものである。